

平成 26 年度東広島市教育委員会主催・広島大学マスタース共催市民講座 「身近に日本刀を楽しもう」実施報告

日本美術刀剣保存協会広島県支部 清水迫章造
(コーディネーター：広島大学マスタース協力会員)

日本美術刀剣保存協会広島県支部は、日本古来の伝統的芸術品である日本刀の保存や技術の伝承を目的に全国で活動する組織の一つで、定期的な鑑賞会(勉強会)をはじめ、企画イベントや刀剣についての相談などに取り組んでいます。

日本刀は文化財保護法により管理され、日本の伝統的な文化財としての位置づけがされています。しかし、日本刀のもつ経歴から殺傷の武具としての見方が一般的で、絵画とか焼き物などの鑑賞とは微妙に異なった次元が存在します。そのため刀剣を保存し後世に引き継ぐことを使命にしている立場からは、純粹に芸術品としての評価の視点がもっと強調される必要性を強く感じておりました。

そこで日本美術刀剣保存協会広島県支部では、美学的な視点から日本刀にアプローチすることとし、平成 24 年秋に広島城と共催した企画展「備後と安芸の刀と鐔」展の主要イベントとして、美学の第一人者であり広大マスタースに所属される金田先生に「日本刀の美学」についての講演を依頼しました。

この講演内容は、公益財団法人日本美術刀剣保存協会(本部東京)の月刊機関誌「刀剣美術」(平成 25 年 7 月号)に掲載され、全国のみならず世界の日本刀愛好家の手元に届けられました。その後、第二弾も論文として今年の 2 月号に上記論文の続編として掲載されました。

美学の切り口から日本刀を語った事例は殆んどなく、日本美術刀剣保存協会広島県支部の活動として、日本刀の持つ美に対峙して新しい視点を示唆できたことは、日本刀の保存や技術の継承にも大いに貢献するものと思っています。金田先生に感謝です。

今回のマスタースの市民講座は、こうした経過から生まれたものです。何よりも市民に身近な芸術品として日本刀を楽しんでもらう機会をいただいたことは、日本美術刀剣保存協会広島県支部にとっては歴史的な慶事で、原野昇先生をはじめバックアップしていただいた各先生方に感謝の思いでいっぱいです。そして、東広島市教育委員会の積極的なご支援に深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

今回の市民講座の参加者は23名でした。申し込み期日の10日位前に教育委員会の船川さんに確認したところ14人でした。このまま推移すれば締切までには20人近くになるかも知れないとの言葉に正直ビックリいたしました。10人位と予想した数を大幅に上回る参加者で、日本刀に対する潜在的な関心の高さを窺い知るきっかけにもなりました。

また、出来る限り日本刀の現物に直接触れて頂けるように、毎回到わり広島県支部会員からの提供刀剣の展示を行いました。

各講座の概要は以下の通りでした

場 所 東広島市民文化センター 2階 第2研修室
 時 間 午後1:30～3:00

日程	内容	講師	備考
11/ 8 (土)	・日本刀の世界	西本直彦氏 日本美術刀剣保存協会 広島県支部支部長	・刀の扱い方、作法、日常用語 ・歴史と日本刀の変化 など・・・
11/15 (土)	・日本刀ができるまで	三上孝徳氏 全日本刀匠会会長	・鍛え、焼き入れ、銘切り など・・・
11/22 (土)	・刀剣の美学	金田 晋氏 広島大学名誉教授 美学者	・日本刀が芸術品としての 真の評価を得るために など・・・
11/29 (土)	・日本刀鑑賞のポイント	小池 哲氏 ・公益財団法人日本 美術刀剣保存協会監事 ・日本美術刀剣保存 協会岡山県支部副会長	・鑑賞のマナー ・姿、地金、刃紋から楽しく学ぶ など・・・



市民講座への参加者のアンケート結果は以下のとおりです。次回の実施につながる内容でした。

質問 1：今回の講座について、ご感想をお聞かせください。

- ・従来のマスターズの講座と趣が異なった講座で楽しかった。関係者に感謝する。
- ・日本刀が美術品として素晴らしいものであると改めて感じた。
- ・近くて遠い存在だった日本刀がこの講座によって身近になった。
- ・日本の歴史、先人達の日本刀に対する思いを感じた。
- ・素人に楽しめる参考になる講座だった。
- ・理解できない部分があったが、これから知識を深めたい。
- ・講座内容の構成や全体の流れも良かった。刀剣への理解が深まった。
- ・刀の美しさを改めて知り感激した。
- ・日本刀について様々な角度から勉強できとても参考になった。
- ・博物館ではケース越しにしか見られない日本刀が実際手にできて良かった。意外に重いことが分かった。
- ・日本刀に直接触れることができとても感激した。
- ・とても貴重で有意義な講座だった。またの講座を楽しみにしている。
- ・講座内容が豊富で面白い上、現物に触れることができ刀が身近に実感できた。
- ・本では理解できないことも何となく理解する糸口が掴めたような気がする。

質問 2：今後のご要望など、ご意見を自由にお書きください。

- ・「刀剣の扱い方」について説明の時間を十分に設けてほしい。
- ・今後とも刀に限らずユニークな講座を期待する。
- ・見学ツアー（三上鍛錬道場）に参加できず残念だった。再度企画してほしい。
- ・武具の歴史についての講座を希望する。
- ・回を重ねて知識を深めてから制作現場の見学に参加したい。
- ・回数をもっと増やしてもらいたい。
- ・DVDで映像を使っただけの講座になればと思った。
- ・鐔や鞘などの展示があるとありがたい。通常は触れられないので。
- ・展示会などの現地での講習も面白いかも。
- ・もう少し回数があればと思うし、次回も是非参加したい。